

海外在留証明書

(西暦) 年 月 日

大妻嵐山高等学校
校長 井上 正美 殿

事業機関名 _____

所在地 _____

責任者役職名 _____
及び氏名 _____ 公印 _____

志願者 _____ は、下記の通り保護者 _____ に同行し、
海外に在留したことを証明します。

記

1 志願者在留期間

開始 (西暦)	終了 (西暦)	在留地 (国名)
年 月 日	年 月 日 在留中 [年 月 日 帰国予定]	

2 保護者在留期間

開始 (西暦)	終了 (西暦)	在留地 (国名)
年 月 日	年 月 日 在留中 [年 月 日 帰国予定]	

※志願者と保護者の在留開始日または終了日が異なる場合、その理由をご記入ください。

※記入上の注意

- 必ず保護者の所属する会社（機関）の証明を受けてください。
海外在留証明書は原則本校指定用紙を使用し、原本を提出してください。
自営業等のため証明が受けられない場合は、滞在期間を明らかにできる保護者及び本人のパスポートの写しを添付してください。
- 勤務先事業主の公印がない場合、サインでも構いません。
- 志願者と保護者の在留期間が同一の場合でも、必ず両方の欄に記入してください。
- 現在、在留中の場合、表中の「在留中」に○をつけ、帰国予定日をご記入ください。
この場合、入学後に改めて証明書を提出していただく場合があります。